

試験結果報告書

株式会社タックアンドカンパニー 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 東支部
神奈川縣藤沢市宮前428



依頼No. 111551

報告日：平成23年12月21日

支 部 長	担 当 者

品 名	マイクロシーラー セラミックガード (基材：ガラス板)		試料受付日	平成23年 9 月 2 1 日
			試料採取日	平成 一 年 一 月 一 日
			試料採取場所	提 出
製 造 者	株式会社 タックアンドカンパニー		試 料 数 量	1
試 験 項 目	結 果		試 験 方 法	
硬度	6 H以上		JIS K 5600-5-4:1999 塗料一般試験方法 —第5部：塗膜の機械的性質—第4節： 引っかかり硬度(鉛筆法)に準ずる。 評価：凝集破壊	
耐薬品性 (酸性)	割れ、はがれ、膨れを認めない。		JIS K 5600-6-1:1999 塗料一般試験方法 —第6部：塗膜の化学的性質—第1節：耐 液体性(一般的方法) 7. 方法1(浸せき 法)に準ずる。 試験液：5w/v%硫酸 試験時間：24時間	
耐薬品性 (アルカリ性)	割れ、はがれ、膨れを認めない。		JIS K 5600-6-1:1999 塗料一般試験方法 —第6部：塗膜の化学的性質—第1節：耐 液体性(一般的方法) 7. 方法1(浸せき 法)に準ずる。 試験液：5w/v%水酸化ナトリウム水溶液 試験時間：24時間	
耐溶剤性	割れ、はがれ、膨れを認めない。		ASTM D 4752-03 Standard Test Method for Measuring MEK Resistance of Ethyl Silicate (Inorganic) Zinc-Rich Primers by Solvent Rubに準ずる。 拭き取り溶剤：キシレン 拭き取り方法：キューピ製ネルウエス を用いて500 gfで押し付け試験面を擦る。 往復回数：30回	
すべり抵抗 C. S. R値	乾燥	1. 6	JIS A 1454:2010 高分子系張り床材試験 方法 17. 滑り性試験に準ずる。 滑り片：ゴムシート(硬さ(A形) 72~80) 試験片の表面状態：乾燥・水粒子	
	水粒子	1. 4		

・転載又は一部分を複製する場合は、事前に当協会の承諾を受けて下さい。

試験結果報告書

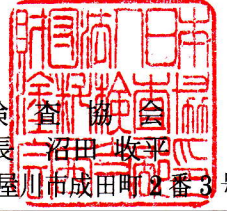
株式会社 タックアンドカンパニー 殿

財団
法人

日本塗料検査協会

西支部 支部長 沼田 敬平

〒572-0004 大阪府寝屋川市成田町2番3号



依頼No. 115882

報告日：平成23年10月18日

支 部 長 担 当 者



品 名	マイクロシーラー セラミックガード (Lot No. —)	試料受付日	平成23年10月 5日
		試料採取日	平成23年10月 4日
		試料採取場所	送 付 (株)タックアンドカンパニー
依頼者名称	株式会社 タックアンドカンパニー	試料採取者	—
依頼者住所	東京都練馬区高松3-2-8	試料数量	100g

試験項目	結 果	試験方法
ホルムアルデヒド 放散量 (mg/L) 7日後	① 不検出 (測定下限値0.030) ② 不検出 (測定下限値0.030) 平均 不検出 (測定下限値0.03) 以 上	JIS K 5601-4-1:2003 「塗料成分試験方法—第4部：塗膜からの放散成分分析—第1節：ホルムアルデヒド」3. デシケータ法による。 塗装条件 希釈剤及び希釈率；希釈なし 塗装回数；1回塗り (刷毛塗り) 塗布量 ；13g/m ² 試験期間 平成23年10月 6日～ 平成23年10月14日

製 造 者 ： 株式会社 タックアンドカンパニー

以下余白



No. T-12004612-001

試験報告書

平成24年10月9日

東京都練馬区高松3-2-8

株式会社 タックアンドカンパニー 殿

一般財団法人 化学研究評価機構

高分子試験・評価センター

東京事業所 所長 荒川 聡

〒135-0062 東京都江東区東雲 2-11-17

TEL 03-3527-5115 FAX 03-3527-5116

品 名	マイクロシーラー セラミックガード Micro Sealer Ceramic Guard
試験方法	食品衛生法・食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号） 個別規格に規定された以外の合成樹脂製の器具又は容器包装 （平成18年厚生労働省告示第201号） 溶出条件：使用温度が100℃以下のもの
試験年月日	平成24年10月3日

貴社から提出された試験体の試験結果は下記のとおりです。

試験項目	試験結果
材質試験	
鉛	1 μ g/g以下
カドミウム	1 μ g/g以下
溶出試験	
重金属（鉛として）	1 μ g/ml以下
過マンガン酸カリウム消費量	0.5 μ g/ml以下

上記結果は食品衛生法・食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）に適合する。

本試験報告書を他に掲載するときは当センターの承認を受けてください。

責任者	担当者
	

試験結果報告書

株式会社 タックアンドカンパニー 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 東支部
神奈川県藤沢市宮前428



依頼No. 111684

報告日：平成23年12月2日

支 部 長	担 当 者

品 名	マイクロシーラー セラミックガード (基材：ガラス板)	試料受付日	平成23年10月25日
		試料採取日	平成 年 月 日
		試料採取場所	提 出
製 造 者	株式会社 タックアンドカンパニー	試 料 数 量	1
試 験 項 目	結 果		試 験 方 法
耐汚染性	しょうゆ	変化なし	引用文献JIS K 5400:1990 塗料一般試験 方法 8.10 耐汚染性に準ずる。 試験時間：24時間 汚染材料 供試しょうゆ 供試ソース 供試マヨネーズ 供試ケチャップ 供試ワイン 供試オレンジジュース 供試コーラ 供試コーヒー 供試紅茶
	ソース	変化なし	
	マヨネーズ	変化なし	
	ケチャップ	変化なし	
	ワイン	変化なし	
	オレンジジュース	変化なし	
	コーラ	変化なし	
	コーヒー	変化なし	
	紅茶	変化なし	

以 下 余 白

カビ抵抗性試験 (MOLD-RESISTANCE TEST)

要約 (SUMMARY)

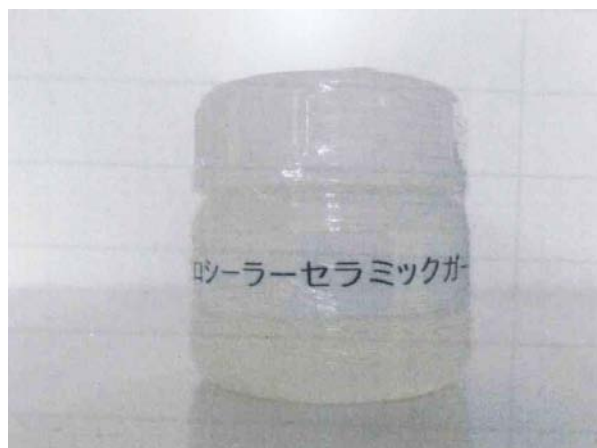
試供された検体をパシフィックビーム・モールド法による 71 菌を使用した 28 日間のカビ抵抗性試験を行った。その結果、28 日後において、PBM を添加した検体においてカビの発育が認めらなかったことから、カビ抵抗性があると考えられる。

We conducted the test about mold resistance with 71 molds during 28 days by the PacificBeam MOLD test method. In the test, growth of mold on the sample with PBM was not detected. In conclusion, PacificBeam Mold is proved its' high resistance to the molds.

試験項目	カビ抵抗性試験
Test Name	MOLD-RESISTANCE TEST with 71 kinds of mold

試験期間	平成 23 年 10 月 4 日～平成 23 年 10 月 31 日
Test Terms	2011/10/4 - 2011/10/31

検体 石材硬化剤 (Stone hardener)



試験サンプル (Test Samples)

下記の試料について、パシフィックビーム法によるカビ抵抗性試験を行う。

The details of the test samples are below.

	試験ピース (Test pieces)	試験サンプル詳細 (Details of the samples)
4669	A	ブランク Blank
	B	ブランクに PBM-W200 を 0.5%添加 Added PBM-W200 0.5% to blank
	C	ブランクに PBM-W200 を 1.0%添加 Added PBM-W200 1.0% to blank
	D	ブランクに PBM-W200 を 1.5%添加 Added PBM-W200 1.5% to blank
	E	ブランクに PBM-W200 を 2.0%添加 Added PBM-W200 2.0% to blank

試験結果 (Result)

	試験ピース Test piece	培養期間(Incubation Period)			
		7 日間 (7days)	14 日間 (14days)	21 日間 (21days)	28 日間 (28days)
4669	A	3	5	5	5
	B	1	1	1	1
	C	1	1	1	1
	D	1	1	1	1
	E	1	1	1	1

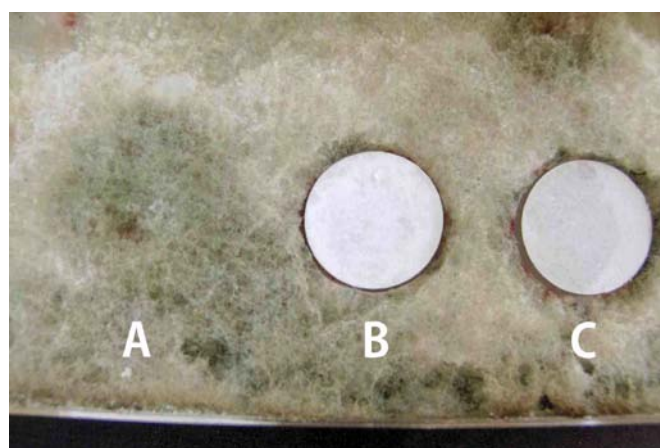
〔試験結果写真説明1〕：試験ピースは28日間試験終了時に撮影した。

(Attached photos below are taken at the end of the 28 days test period.)

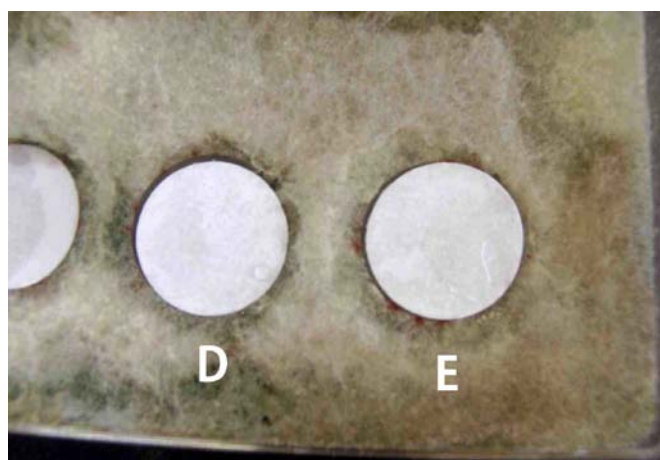
【写真1】試験ピース A-E (Photo 1: Test piece A to E)



【写真2】拡大写真試験ピース A, B, C (Photo 2: Closed up photo test piece A, B, C)



【写真3】拡大写真試験ピース D, E (Photo 2: Closed up photo test piece D, E)



所見 (Remarks)

本試験は、培養器と培養条件により、強制的にかびが発育し易い環境にしています。この環境を実質上の評価基準に換算すると、7 日間で約 3 ヶ月、14 日間で約 1 年間、21 日間で約 2 年間、28 日間で約 3 年～5 年の実際的な期間に相当します。それゆえ、PBM の効果が確認された試験においては、実際の生活環境の中で、約 3-5 年の効果があると推定されます。

The circumstances of incubation were controlled to encourage growth of the mold. The incubation period can be converted in natural terms below,

7 days period = 3 months

14 days period = 1 year

21 days period = 2 years

28 days period = 3-5 years

Therefore, the test results that the effects of PBM were confirmed thru this test report could tell that PBM will be effective for 3 to 5 years periods in the real living life environments.

株式会社エム・アイ・シー

M.I.C. (Medical Intelligence Corporation) Co., Ltd.

2-2-15 Higashiasahina Kanazawa-Ward, Yokohama

Kanagawa, 236-0033 JAPAN

